

kintone  まめちしき

kintoneのレコード詳細画面を開いた状態で
キーボードの「J」を押すと前のレコードに、
「K」を押すと次のレコードに遷移するニャ

kintone

お知らせ:2015年7月12日のアップデート内容について

アプリのテーブルの絞り込み仕様を変更しました。
従来はレコードのテーブル全体を検索してましたが、
今後はテーブルの行単位で検索するようになります。
くわしくは、kintone 公式サイト「アップデート情報」をご覧ください。

cybozu.com

サービスに関するお問い合わせは、弊社ホームページへ
<https://kintone.cybozu.com/>

表紙と裏表紙のねこ:あーみんのお家のねこ
Copyright(c) Cybozu,Inc.

みんなのアプリライフを応援する情報誌

cybozu.com

キントーン

kintone

MAGAZINE



第一回

kintone hive 開催レポート

株式会社サイバーエージェント ほか



あーみんの
kintone 情報局
「ToDoリストをガントチャート
表示してみよう」

開催決定

投票により大賞を決定

参加社募集



kintone hive 開催レポート 2015.5.22

2015年5月22日に六本木アカデミーヒルズにて開催されたkintone ユーザー会「kintone hive」。日頃から業務の中でkintoneを活用しているユーザーが一堂に会し、kintone プロジェクト成功の秘訣や活用のコツをそれぞれの視点で解説、貴重なノウハウや知見を披露する有益な交流の場となりました。11名の登壇者が語ったkintoneへの熱い思いもあわせて、第一回目となるkintone hiveの様子をレポートします。

01

kintone ユーザー事例

「バックエンド速効システム化」 ～大統領ボタン構想～

会社登記後すぐにバックエンドシステムが提供できる環境を整備

内部監査室という肩書きながら、事業の中に入り込んで課題を自ら解決することをミッションに掲げている株式会社サイバーエージェント 鹿倉 良太氏。わずか半年の間に15社もの子会社が立ち上がるほど様々な事業が産声を上げている同社では「受注管理や請求管理などバックエンドの仕組みに長年Excelを活用し続けてきました」と以前の状況を振り返る。しかし、Excelは万能であるが故にガバナンスが効かない場面もあり、新たにkintoneを活用して事業の運営に必要なバックエンドのシステムを構築することを決断。「結果として、2営業日ほど月次決算の早期化が可能になり、新たな事業が立ち上がる前にガバナンスの効いた形でバックエンドシステムが提供できるようになりました」とkintoneを高く評価する鹿倉氏。現在は与信管理機能や債券管理、登記情報管理、リスク情報管理など様々なアプリケーションをkintoneで構築している状況だ。今後はバックエンド業務をフロントにオーバーラップしていくことで「不正の入り込む余地がない仕組み」作りを目指しながら、将来は単体から連結決算まで一気に処理が自動化される「大統領ボタン構想」を計画しており、kintoneがその中核を担っていくと鹿倉氏は力説した。



株式会社サイバーエージェント
内部監査室 鹿倉 良太氏

02

kintone ユーザー事例

kintone が作り出す 「個と集団、場」の形成とは？

組織の進歩に応じてカスタマイズ、場を作り出す力が魅力

続いて登壇したのは、障害のある児童の自宅に向いてリハビリをサポートする訪問看護や施設でリハビリを通じて成長発達を促す児童デイ事業などを手掛ける株式会社関西の青山 敬三郎氏。「かつては情報共有することにお金を払うのに抵抗があった」と語る通り、メンバー同士の情報共有にメールや電話を利用していたと当時を振り返る。しかし、作業工程の最適化を計るためにkintoneを導入し、場所や時間を問わず情報共有できる環境を整備、その結果50%ほどの作業工程を削減することができたという。しかも、kintoneアカウントをすべての顧客に提供することで、写真を交えた日常の様子などが関係者全員で円滑に共有され、安心感や自己受容、自己確立へと繋がる「人の集まり」へと発展させることに成功。「人」と「場(トポス)」によって生み出される集団をkintoneによって作り上げている。kintoneの魅力については「分析によって作業をカスタマイズしていく力を持っており、さらに場としてのトポスを生み出す力、そしてタスク自体をアジャイルで構築していくなど組織の進歩に合わせて仕組みを作り上げていく力を持ったツールです」と青山氏。kintoneの可能性については、システムを超えて日本の福祉を世界に向けて発信できるツールだと力強く語っていただいた。



株式会社関西(青竹のふし)
代表取締役 青山 敬三郎氏

03

kintone ユーザー事例

元サイボウズ社員が転職して kintone の導入・運用してみた5つのこと

入社後4日目にしてkintone 運用開始！想像以上のスピード感

昨年までkintoneのエバンジェリストを勤めていた田村 悠揮氏が登壇し、転職先である実名型グルメサービス「Retty」を運営しているRetty 株式会社で実際にkintoneを導入・運用を経験、その過程で改めて感じた5つのことについて披露した。これまでスプレッドシートを使って運用されてきた管理ツールを見直し、kintoneでアプリを作成しているが、最初に田村氏が感じたのは、その驚くべき展開の速さだという。「入社2日目に発注し、3日目にアプリ作成とデータ移行、そして4日目には現場へ説明し、すぐに運用を開始したほど」と語る通り、圧倒的なスピード感を持ったツールだということだ。また、活用を促すためには「業務ごとにスペース(場)を設置し活用すること」や「一人で面倒を見ることが難しくなる前に、社内にkintone マスターを増やすべき」といった提言も。kintoneの柔軟性を損なうことのないカスタマイズの方法など「困ったらノウハウを持っているパートナーに相談して欲しい」と語り、社内外に頼れるパートナーを作るべきだという持論を展開した。また「ユーザーごとにデフォルトビューが欲しい」など、会場にいるユーザーの思いを代弁する意見もあり、自身の結婚式前日という多忙な中であっても、元エバンジェリストらしい軽妙なトークで会場を湧かせていた。

Retty



Retty株式会社
シニアビジネスプロデューサー
田村 悠揮氏



kintone が可能にする 「ブロック+紙ねんど」スタイルの開発

04

kintone ユーザー事例

成功の鍵はkintone プロジェクトの進め方にあり

主力事業である印鑑・はんこのオンライン通販ショップ「ハンコヤドットコム」において、バックエンド業務のプロセスをkintoneで構築した株式会社AmidAの大田 基樹氏が登壇。「社内システムのリニューアルが頓挫してしまったことで、低予算で短期間にリリースできる仕組みが求められました。絶対に失敗できないプロジェクトだったのです」とその導入のきっかけを語る。そこで新たな仕組みとして大田氏が選んだのが、前職でも実績のあったkintoneだった。結果として初期バージョンをわずか1ヶ月半でリリースし、現場とのギャップもなく開発工数の削減にも大きく役立ったという。成功の鍵としては「プロジェクトの進め方」だと大田氏は分析するが、具体的には「プロトタイプングでギャップを解消」「使えるものを先に作ってリリースするスクラム型のプロジェクト管理」「修正を前提に現場から承認をもらうことでリリースと修正を繰り返す」というものだ。また、フルスクラッチによる開発プロジェクトの失敗経験を経て「フルスクラッチ(紙ねんど)の利点を活かしながら、kintoneのようなミドルウェア(ブロック)を効果的に利用することが重要」と大田氏は語る。また、kintoneのアプリストアなど利用できるものはできる限り使いながら、「完璧を目指さず」やってみなはれ「の精神を持ってスタートするべき。作り替えることも念頭に置きながら、データ移行などについても意識して欲しい」と現場ならではの視点も。隠れた成功の鍵は「部門ごとに管理者を作ること」とその秘訣を明かしてくれた。



株式会社AmidA
マーケティング事業部 副部長
大田 基樹氏

05

kintone hack

kintoneを扱うデベロッパーによるライトニングトーク



株式会社ジョイゾー
代表取締役社長
四宮 靖隆氏

サイボウズ公認エバンジェリストの1人としてkintoneの普及活動を行っている「ミスターkintone」こと四宮 靖隆氏。kintoneを基盤とした定額のシステム開発サービス「システム39」など自社のビジネスを紹介したのち、ヒストグラムなどを使って月謝管理や生徒の成績管理などビジュアルに表示する学習塾の事例や、営業支援ツールとしてkintoneを活用しているトラック会社の事例を紹介。データ自体はkintoneで管理しているものの、リストビューやカレンダー形式の画面をJavaScriptで作成するなど、様々なカスタマイズが可能な点をアピールした。最後に同社が開発したkintone デテ化プラグインの無償提供についても言及し、会場を盛り上げた。

kintoneの開発を支援するためのコミュニティサイト「cybozu.com developer network」にてAPIの活用相談があれば積極的にコメントしているのがサイボウズスタートアップ株式会社の落合 雄一氏だ。落合氏は自社で活用している契約管理アプリ事例を紹介し、「顧客マスターアプリや製品マスターアプリからのルックアップ、この2つがあれば契約管理アプリを作ることができます」とそのポイントを披露。また、同社が提供するクラウド帳票サービス「プリントクリエイター」やkintone上に蓄積された情報をバックアップする「kBackup」についても触れ、自社サービスの利用シーンを紹介した。



サイボウズ
スタートアップ株式会社
取締役 最高技術責任者
落合 雄一氏





R3 institute
マネージャー
金春 利幸氏

Amazon Web Services のユーザーグループで全国事務局長を、kintone Café では運営事務局の立ち上げメンバーとしても活躍している R3 institute の金春 利幸氏。「ものすごいスピードでのシステム構築が魅力だからこそ、カスタマイズは最小限に」という kintone 開発に対する金春氏の考え方に沿った事例が紹介された。kintone 上のアクションをチャットツール「Slack」へ通知する事例や、同社が手掛ける「ハイスピード SI」と呼ばれるサービスを利用することで、たった4時間で基本機能を作った基幹システム周辺業務のサポート開発事例など。そして、事例を通じて金春氏がお勧めするのが「基幹システムをシンプルにしておき、周辺業務を kintone で作って連携させる」ことだと解説。他にも、Talend と呼ばれるオープンソースのデータ連携ツールに対する kintone アダプタを hive 開催の朝から無料公開を始めたことを披露、会場から大きな拍手が沸き起こっていた。

kintone による大規模システム開発を数多く手掛けている M-SOLUTIONS 株式会社の植草 学氏が掲げる「ファスト SI」。“うまい、速い、お得”なファストフードのように速く作って価値を提供することを念頭に、スピーディで柔軟なスパイラルアップ型の開発が同社の強みとなっている。このファスト SI の中核に据えられた kintone による 4 つの事例を短い時間の中で披露した植草氏。アプリ改修をユーザー側で行うことも視野に入れつつ、わずか2週間で回線申し込みフォームを作成した事例や、kintone 開発の手法をレクチャーしながらユーザーと折半でシステム開発を実施した事例、基幹システムの開発だけでなくプロジェクト管理のツールとしても kintone を活用し、ユーザー教育の一環として触れる機会を多く持たせたシステム開発事例などを紹介。kintone とロボットの Pepper を連携させる IoT 事例なども紹介され、多くの参加者が熱心に聞き入っていた。



M-SOLUTIONS株式会社
取締役
植草 学氏



株式会社ソウルウェア
小林 裕輝氏

kintone の画面をカスタマイズさせたら日本一と名高い“ピンポン小林”こと株式会社ソウルウェアの小林 裕輝氏は、エンジニアの視点から「だれでも手軽に、簡単にアプリを作れる」kintone を、もっと簡単にできるのではと試行を重ねている。具体的には“同じ内容の入力を減らす”“繰り返しの作業を減らす”工夫によって、効率化を目指しているという。具体的な例として、関連レコードの登録を簡単にするため、参照元のアプリ内で画面遷移せずに登録できるカスタマイズ事例や、サイボウズガールン内で入力したスケジュールを引っ張ってくるカスタマイズ事例、マウスだけでドラッグ&ドロップして情報が更新できる事例など、実際の画面を動かしながら詳しく解説した小林氏。シンプルながら効率化に寄与するカスタマイズが可能なことをアピールした。

kintone 界隈で IoT について語る人物と言え、IoT とグループウェアとの連携を事業検討している過程で kintone の魅力にはまり、結果として“kintone 転職”した株式会社ジョイゾーの山下 竜氏だ。山下氏が語ったのは、レタスの水耕栽培における温度や湿度情報を kintone に収集してノウハウを蓄積し、kintone に備わっているコミュニケーションやプロセス管理などの機能を活用、適切なタイミングで提携農家に対して指示するといった活用事例だ。ポイントとしては、データをやみくもに kintone に投入するのではなく、ストリームデータを一時処理するためにクラウドサービスを介在させることだと山下氏。最適な仕組み作りについてはご相談いただきたいと山下氏は最後にアピールした。



株式会社ジョイゾー
山下 竜氏



ICTコミュニケーションズ株式会社
コンテンツビジネス事業部長
渋谷 雄大氏

自身の会社とサイボウズという2つの職場を行き来する“パラレルワーカー”というスタイルで活躍する ICT コミュニケーションズ株式会社の渋谷 雄大氏が登場。これまでの話題とは異なり、IT ツールと導入トレーニングの重要性について語った。同社が提供するトレーニング「kintone university」などについて触れつつ、実際に身振り手振りで画面を動かしながら IT 導入の際に重要なキーワード「依存度」を高めていくことの重要性を説いた。外部のトレーニングや社内の勉強会を通じて“がっつり触ってもらう”ことで、現場から活用アイデアが湧き出てくるものだと渋谷氏。また、チーム全体を巻き込むことが成功の秘訣だと語ってくれた。



kintone hive 終了後には、参加者や登壇者を交えた懇親会が開催されました。サイバーエージェント鹿倉氏による乾杯の発声をきっかけに、ユーザー同士の交流がスタート。テーブルを囲んで和やかな雰囲気の中で談笑している傍らで、自社の課題について真剣に相談する参加者も。登壇者の周りに参加者が集まるシーンもあり、kintone 活用をもっと積極的に行っていきたいというユーザーの熱い姿勢を垣間見ることができました。懇親会の最後に次回の登壇希望者を会場から募ったところ、なんと複数のユーザーが名乗りをあげ、そのうちの1社の方に締めめの挨拶をいただくことに。次回の盛り上がりも期待しつつ、第一回目となる kintone hive は幕を閉じました。

▶▶ たくさんのご来場ありがとうございました。第二回の開催情報は次ページにて！

kintone hive VOL.2

2015.10.15
①13:30 start
参加無料

こんな人におすすめです
kintone を導入しただけで、決まったアプリの運用にとどまると感じてる方

kintone ユーザーが集結し、貴重なノウハウや知見を共有する kintone hive を10月に開催いたします。

今回から kintone AWARD を新設いたしました。イノベティブな kintone ユーザーのエントリーをお待ちしております。また、その kintone ユーザーのプレゼンを LIVE で見たい方はぜひ参加ください。

	kintone hive 開催概要	対象	kintone をご契約中のお客さまとその同伴者(2名まで)
日時	2015年10月15日(木曜日) 13:30 START (13:00受付開始)	定員	150社 300名
場所	ベルサール東京日本橋 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 懇親会会場 サイボウズ オフィス(同ビル27F)	参加費	無料(事前登録制)
内容	kintone ユーザーによる事例発表 / kintone AWARD ノミネート企業による発表 / kintone デベロッパーによるライトニングトークなど、kintone を活用するにあたって有用な情報が盛りだくさんです。	主催	サイボウズ株式会社
		申込み	下記フォームからお申し込みください

<https://kintone.cybozu.com/jp/hive2015/>

▶▶ 同伴者様の申し込みについてはお申し込みフォームをご確認ください



同伴者



モバイルからはコチラ



kintone AWARD 概要

全ての kintone ユーザーを対象に、圧倒的な効果で輝く活用から、一緒に活用する仲間を幸せにする活用、独創的な活用まで、きらりと光る優れた取り組みを幅広く表彰します。本賞を通じて、kintone ユーザーがさらなる活用を広げる助けとなることはもとより、日本のビジネスシーンにおいて、より一層の士気向上やイノベーションを促します。多くの方々のご応募をお待ちしております。

応募期間 2015年7月13日(月曜日)～2015年8月31日(月曜日)



審査委員

審査委員には競争戦略とイノベーションを専門とする一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授 楠木 建氏をはじめ、著名な方に協力いただき、各企業の kintone での取り組みを表彰いたします。

応募資格	kintone 契約中のお客様・各審査にご協力いただけるお客様
賞品	エントリーいただいた方全員に参加賞を贈呈 kintone hive でグランプリ受賞企業を1社決定
応募方法	下記申し込みフォームから必要事項を記載の上、ご応募ください。

<https://kintone.cybozu.com/jp/event/hive2015/10/>



kintone hive / kintone AWARD に関する問合せは kintone hive事務局 kintone-pr@cybozu.co.jp まで



あーみんの kintone 情報局

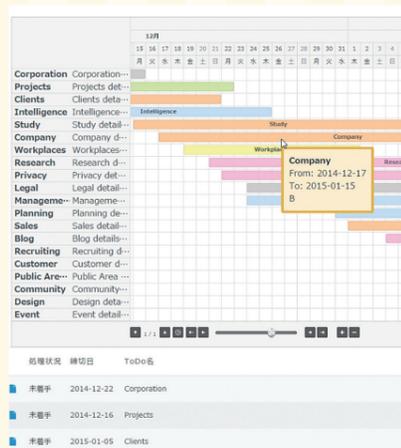
こんにちは！kintone プロモーション担当のあーみんです。
好きな食べ物はグラタン、好きな飲み物はカルピス。
要するに乳製品が大好きです。
この「kintone情報局」のコーナーでは、
皆さまのお役に立つkintone Tipsやちょっとした小ネタ、
最新情報などをお届けしてまいります！

もっと

kintoneを便利に使えるTips

～ガントチャート形式で表示してみよう～

kintoneは、基本機能だけでもいろいろな業務改革を実現できますが、カスタマイズをすることによって更に便利に活用することができます。
たとえばkintoneに登録されている日付をガントチャート形式で表示する方法は、業種・職種を問わずさまざまなお客さまに人気です。
チームで共有するToDoアプリなどをガントチャートで表示すると、プロジェクト管理が更にはかどりますね！



1から開発しなくてもすぐに使える「kintone プラグイン」

「確かに便利そうだけど、1からプログラミングするのはちょっと…」
そんな方でもかんたんにカスタマイズを実現できるのが「kintone プラグイン」です。
プラグインをkintoneにインストールしてアプリに適用するだけで、JavaScriptカスタマイズと同等の機能拡張や他サービスとの連携を実現します。
今回ご紹介したガントチャートプラグインも、下記ウェブサイトにてプラグインを公開しています。ぜひぜひ、使ってみてくださいね☆

▼ ガントチャートプラグインはこちら (cybozu.com developer network)

<https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja/articles/203716110>

*kintone プラグインはスタンダードコースでのみご利用いただけます。ライトコースではご利用いただけませんのでご注意ください。
*プラグイン開発では、初歩的なHTML、CSSの知識及びkintone JavaScriptカスタマイズの知識が必要になります。

街角kintone

「あなたの街にもkintoneが…?!」



今年の4月から、kintoneは新たなデザインで首都圏を中心に広告を掲載しています。
お客さまからも「オシャレなのに思わず”あるある”と頷いてしまう内容」など、さまざまな反響をいただきました。



東京駅は大迫力の電照シート



山手線内にも掲載しています



新宿駅にもいたの、気が付きましたか？

次回は7月20日から、東京駅、山手線群、銀座線内、丸ノ内線内で広告が掲載される予定です。どうぞお楽しみに！



駅前バナナを配る謎の集団…その正体は「kintone」！

更に大きな話題を呼んだのは、駅前でのバナナ配り。
東京 品川駅を皮切りに名古屋、福岡の3都市で実施したところ、朝の報道番組「あさチャン！」(TBSテレビ)でもバナナ配りの模様が報道されました！



配っていたのはエクアドル産の立派なバナナ。なぜIT企業であるサイボウズがバナナを配っていたのか…？
その理由は、kintoneBLOGでくわしく解説しています。ぜひお時間のある時に読んでみてください。

▼ 弊社IT企業だけど、プロモーションの一環として品川駅でバナナを配ってみた

<http://kintone-blog.cybozu.co.jp/event/000129.html>



いかがでしたでしょうか？
このコーナーでは「意外と知らないkintone」をメインテーマに、さまざまな小ネタをご紹介します。それではまた次回があると信じて…あーみんでした☆

▶ kintoneの最新情報はここをチェック！

Twitter @cybozu_kintone facebook <https://www.facebook.com/kintone>